

記録的暖冬と新型コロナウイルスで業況低迷

1月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

記録的な暖冬と中国を中心に蔓延している新型コロナウイルスの影響により、市場が大きく混乱している。暖冬は、天候の安定をもたらした一方で、本来あるべき需要を奪う結果となった。また、新型コロナウイルスは、業種によって実害が出始めているほか、多くの業種で今後にも悪影響を及ぼすことが懸念されている。

| | | | |
|------|---------|--|---|
| 製造業 | 食料品 | | パンは、暖冬や長期休暇を要因として業況が回復基調だが、新型コロナウイルスの影響で先行き不透明。製麺は、消費税増税後の節約志向により荷動きの重い基調が続く。酒造は、普通酒の売上が大幅減。食肉は、豚の屠畜・カット頭数増加に伴い売上増加、CSFのワクチン接種が進み一安心。菓子も、前年並みに推移。 |
| | 繊維・同製品 | | 新型コロナウイルスに関して、ニットではその影響により店頭でのインバウンド需要が低迷し、その他繊維製品では今後の動向を注視している。桐生織物は、暖冬の影響で冬物衣料の消費低迷が続く厳しい状況。伊勢崎織物は、厳しい状況に変わらないが、広巾織物の展示会への出品により新たな引き合いが出てきている。 |
| | 窯業・土石製品 | | コンクリートブロックは、月末の雨により売上低迷。生コンは、例年並みの滑り出し、公共工事発注により東毛地域で需要がやや増加。砂利は、前月に続き旺盛な需要があり、在庫がほとんどない状況。碎石は、災害復旧工事や好天などを要因として西毛地域で売上増となるが、吾妻地域で閑散期となり、前年並みに推移。 |
| | 機械・金属 | | 鍍金は、半導体・機械工業関連で大幅に落ち込んでいるほか、原材料価格が高騰している。自動車関連は、大手メーカーからの受注量減少により収益悪化、同部品は、工場稼働日が減少し売上減少。電機関連は、先行きに明るさが見られない。総じて、新型コロナウイルスの影響による今後の業況悪化を懸念している。 |
| | その他の製造業 | | 紙加工品は、新型コロナウイルスの影響を注視、業況は悪化しているが、暖冬により青果物関連の前倒し需要発生。木材は、原木不足からくる原木価格高の状況、使い勝手の良い集成材の取引が活発だが、無垢材の動きは鈍い。印刷は、売上・収益ともに減少、消費税増税の影響と思われる。ゴム製品は、業況が悪化傾向。 |
| 非製造業 | 卸売業 | | 記録的な暖冬と新型コロナウイルスが大きな打撃となっている。卸団地は、雪不足によりウィンターリゾート向け食品卸が低調であるほか、中国向けの輸出量が減少。農産物卸は、鍋物野菜の販売不振、観光地向けの取扱量が減少している状況、また、野菜全般が価格安となっている。水産物卸は、売上・収益ともに悪化。 |
| | 小売業 | | 新型コロナウイルスの影響を不安視する声が多く聞かれる。また、暖冬により家電小売・商店街は冬物商品に動きがみられず、燃料小売は灯油需要減少により収益が悪化している。中古車オークションは、消費税増税の影響もあり売上減少、サポカー補助金に期待感あり。生花小売は、イベントの簡素化により需要減少。 |
| | サービス業 | | 温泉旅館は、新型コロナウイルスの目立った影響は出ていないが、今後の宿泊客減少を懸念している。藤岡地域における不動産取引は、人口減少による購買力の低下により業況悪化、一部で動きがみられるものの、開発や設備投資は低調。建築設計・自動車整備は、売上・収益ともに前年並みに推移。 |
| | 建設業 | | 建設工事は、台風被害からの復旧工事の発注が始まり、地域ごとの事業量格差拡大を懸念。解体工事は、大手ドラッグストア店舗の解体などの需要が発生。電気工事は、暖冬により天候が安定し業務の進行が順調。塗装工事は、仕事量の確保に苦慮、今年度中は同様の状況が続く見通し。鉄構も、直近の仕事が少ない。 |
| | 運輸業 | | 稼働日減少などにより荷動きは低調に推移、燃料価格は相変わらず高止まりしたままだが、徐々に落ち着きを取り戻しつつある。また、暖冬傾向で雪が少なく運行環境に恵まれたものの、帰り荷の手配に苦慮する場面も発生。小口配送は、医薬品PETや自動車部品関係が好調となったが、全体的には前年よりやや減少。 |

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 118.0(前月比+13.9%)「県統計課・12月」
- 住宅着工戸数 812戸(前年同月比▲23.4%)「県建築住宅課・12月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.48倍・有効1.62倍「群馬労働局・12月」
- 大型小売店販売額 257億円(前年同月比+0.5%)「経済産業省・12月」
- 消費者物価指数(全国) 102.3(前年同月比+0.8%)「総務省統計局・12月」
(鉱工業生産指数は27年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)